

お米を食べて生産者を応援

佐渡トキ応援 お米プロジェクト



産直新潟佐渡コシヒカリ商品の
売り上げの一部を、生きものを
育むための環境づくりに役立てる
「佐渡トキ応援お米プロジェクト」。
トキとの共生を目指し、さまざまな
活動に取り組んでいます。

もう一度、
日本の空にトキを

生きものと
共生する米づくり

かつて、日本のあちこちで見られたトキ。「朱鷺色」と呼ばれるピンク色の翼を広げると140cmにもなる大型の鳥です。しかしその美しい羽根が狙われて乱獲されたり、農薬の使用で田んぼからエサとなるドジョウやカエルが減ったりして、日本の野生のトキは一度絶滅してしまいました。

トキの最後の生息地となった新潟県・佐渡島では、1999年に中国から贈られたトキの繁殖にも成功し、2008年には野生復帰超えるトキが佐渡の空を舞っています。

トキが野生で暮らしていくためには、エサやねぐらが必要ですが、トキの野生復帰のため田んぼをエサ場にしようと、佐渡のお米生産者の皆さんは「生きものを育む農法」を始めました。農薬や化学肥料を減らし、生態系を保って、田んぼやその周辺にさまざまな生きものが暮らせるお米づくりです。

しかしそれは手作業で雑草を取るなど手間がかかります。収穫量も減る上、費用もかかります。こうした取り組みを進める生産者の皆さんを応援するため、コープデリが2010年に始めたのが「佐渡トキ応援お米プロジェクト」です。

生産者の皆さんと交流しています

プロジェクトでは、地元生協のコープデリにいがたを中心に組合員・職員が毎年佐渡を訪問。JA佐渡の生産者や地元の皆さんと交流し、見て・聞いて・体験することで、より多くの方にプロジェクトへの理解が広がることを目指しています。

田植え

春



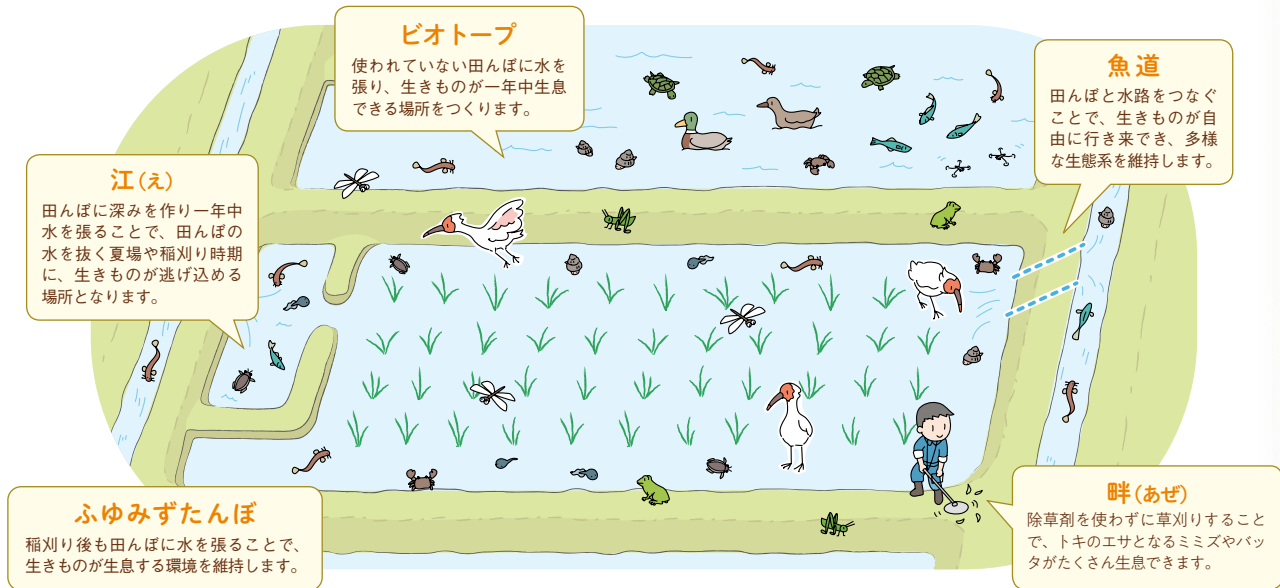
田んぼに異なる品種の苗を植えて絵を描く「田んぼアート」の田植えを行いました

今回の取り組みは、目標12：

つくる責任 つかう責任
につながっています。



さまざまな生きものが 田んぼで暮らせるお米づくり



10月、田んぼアートの前で寄付金贈呈式を開催。組合員から生産者への応援メッセージもお渡ししました

佐渡トキ応援お米プロジェクトでは、「CO・OP産直 新潟佐渡 コシヒカリ」やその加工品の売り上げの一部を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付し、生きものを育てるための環境づくり・トキと共生するお米づくりに役立てています。

佐渡は島特有の気候で夏場は比較的涼しく、稲穂がじゅっくりと実るため、独特の甘みとコク、粘りのあるおいしいお米が育ちます。

このおいしいお米を食べることが、生産者の応援につながります。

食べることで
生産者を応援！

2024年度寄付額 **345万558円**
累計寄付額(15年間) **3,972万2,653円**

対象商品

CO-OP 産直
新潟佐渡
コシヒカリ
※5kgと2kgがあり、
それぞれ無洗米も
あります



1kgにつき1円

CO-OP 産直
新潟佐渡
コシヒカリで
作ったごはん



3パックにつき1円

CO-OP 産直 新潟佐渡
コシヒカリ
で作った
焼おにぎり



1点につき1円

稲刈り

秋



鎌を初めて手に取る組合員の皆さんも、生産者さんからコツを教えるもらい、ザクザクと刈っていました

田んぼアート



今年の田んぼアートのテーマは「共生」。順調に稲穂が実り、きれいな絵がくっきりと浮かび上がりました

生きもの調査



田んぼやビオトープにすむ生きものを調べ、生きもの多様性やトキと暮らす環境づくりを学びました

ビオトープづくり

夏



田んぼの周辺を耕し、トキのエサ場となるビオトープを作りました

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。

